

I. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

人間は目的を達成するために最善策を選択しようとするが、複雑な問題に対処する際の様々な制約により、実は部分的な合理性しか働いていないという学説がある。偉業を成し遂げた歴史的人物も例外ではない。歴史が織りなす雄大な物語の舞台裏には、人間の思考と判断力の限界を示す例が散見している。

帝国の創始者は領土拡大に急ぐあまり、後世にわたる長期的な安定政権の構築を疎かにすることが度々あった。13世紀に誕生した^(a)モンゴル帝国がその一例である。（１）（２）を中心に遊牧勢力が台頭し、モンゴル高原西部のナイマンを征服した。その指導者はチンギス＝ハンとして即位後、大遠征をくりひろげた。西では（３）（４）を奪ったナイマンの残存勢力およびホラズム＝シャー朝を倒した。東では（５）（６）人が建てた西夏を滅ぼすなど、一代で帝国の礎を築いた。しかし、チンギス＝ハンは遠征途中で没し、明確な帝位継承の制度が定まっていなかったため、子孫の間で繰り返し内紛が起こった。その間もさらに領土を拡大したが、統治体制は盤石ではなかった。二代目皇帝の三男は（７）（８）年に金を滅ぼした。他の子孫も地方政権を樹立し、（９）（１０）を都とするキプチャク＝ハン国以外に、イラン・イラク方面のイル＝ハン国と（１１）（１２）地域のチャガタイ＝ハン国が成立した。さらに、孫の^(b)フビライは南宋を倒して中国全土に支配を広げた。しかし、14世紀に天災が続いたのに加え、支配した各地域で対抗勢力が台頭し、地方政権を奪われたモンゴル帝国は崩壊した。

中国大陆からモンゴル人が退いたのち、1368年には明が誕生した。初代の洪武帝は小農民を基盤とする社会に自らが君臨する体制を目指して厳しい統制を行なった。（１３）（１４）とその長官の丞相を廃止し、中央官庁と地方官を自分に直属させる制度を作り上げた。農村では、土地と農民は登録制によって管理され、徴税や治安維持に当たらせるための（１５）（１６）が施行された。また、地方政権を安定させるために、（１７）（１８）たちを王として北方辺境に配置して防衛力を高めた。洪武帝が推進した一連の制度により支配力は強化されたが、臣下と社会を萎縮させたため社会経済の発展に陰りが生じた。

さらに、明は権力誇示と新秩序を作るために海禁を施行する一方で、政府による朝貢貿易を拡大させた。三代目の永楽帝はイスラーム教徒の（１９）（２０）に遠征を命じて、積極的に諸国に朝貢を促した。また、永楽4年から始めた南方出兵で、一時的に（２１）（２２）を占領した。しかし、朝貢貿易から排除された人々の不満が高まり、オイラトは明の皇帝を（２３）（２４）近郊で捕らえ、タタールも交易を求めて明を圧迫した。北虜南倭の対策に苦しんだ明は16世紀後半にタタールの（２５）（２６）と和解して、海禁を緩めた。それに伴い、^(c)中後期には国内の商工業も発展した。しかし、長年の海禁と朝貢貿易の費用がかさみ、その負担を背負わされた庶民が反乱を引き起こしたことをきっかけに明は滅亡した。

海禁と朝貢貿易は次の^(d)清朝にも導入された。清は（２７）（２８）と戦うという名目で中国本土に侵入した。漢人などによる^(e)満州人の政権に対する反発を厳しく弾圧する一環で、海禁を行い鄭成功勢力の抑制を図ったが、鄭氏一族の降伏を受けて海禁が解除された。第四代目の康熙帝は（２９）（３０）条約を結んでロシアと東方部分の国境を取り決めた。しかし、対等な国際関係ではなく、継続して外国を朝貢国のように扱った。その後の皇帝も貿易を外国人に対する恩恵とみなす立場を崩さず、18世紀後半には貿易港を一つに限定し、外国人商人や家族を（３１）（３２）に居住させるなど、厳しい管理を行なった。自由貿易を求める国々の不満が高まるなかで、（３３）（３４）年に広州に派遣された林則徐によるアヘンの取締りがきっかけとなり、イギリスに開戦の口実を与えた。このアヘン戦争の敗北により^(f)清は開国を余儀なくされた。重税に苦しんだ民衆は19世紀半ばに次々と反清を掲げたが、最大規模の（３５）（３６）

の乱が漢人官僚の組織した軍隊によって鎮圧された。これを機に漢人官僚の勢力が強まり、なかでも李鴻章は (37) (38) を創設し、旅順や威海衛の軍港の整備を行なった。しかし、官僚たちは伝統的な中華思想を守るために西洋の技術を利用したにすぎず、清朝の短期的な延命しか果たせなかった。

問1 文中の空欄 (1) (2) ～ (37) (38) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (1) ～ (38) にマークしなさい。

- | | | | |
|-----------|-----------|------------|-----------|
| 11 1234 | 12 1243 | 13 1838 | 14 1839 |
| 15 アイグン | 16 アユタヤ | 17 アルタン＝ハン | 18 安祿山 |
| 19 駅伝制 | 20 エセン＝ハン | 21 王直 | 22 外興安嶺 |
| 23 魏源 | 24 キャフタ | 25 兄弟 | 26 金陵 |
| 27 クメール | 28 呉三桂 | 29 サライ | 30 小興安嶺 |
| 31 尚書省 | 32 西欧 | 33 西周 | 34 西晋 |
| 35 西遼 | 36 赤眉 | 37 大興安嶺 | 38 太平天国 |
| 39 台湾 | 40 タブリーズ | 41 ダヤン＝ハン | 42 タンゲート |
| 43 中央アジア | 44 中書省 | 45 長安 | 46 ツングース |
| 47 鄭和 | 48 東洋艦隊 | 49 南洋艦隊 | 50 西アジア |
| 51 ネルチンスク | 52 白蓮教徒 | 53 北京 | 54 ベトナム |
| 55 北洋艦隊 | 56 香港 | 57 マカオ | 58 マラッカ王国 |
| 59 息子 | 60 門下省 | 61 里甲制 | 62 李自成 |

問2 下線部（a）に関連して、この時代にはじめて中国でカトリックを布教した人物は誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、遷都前にフビライが大ハン位の継承をめぐって争った人物は誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して、この時代に商工業の発展が長江流域の農業にもたらした変化は何か。解答用紙Bの所定の欄に40字以内で記述しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、清末まで政務と軍事をつかさどった最高審議機関の名称は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、満州人による中国統治の正当性を主張するために、第五代皇帝の勅命によって刊行された書物は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部（f）に関連して、南京条約に基づいて開港した都市のうち、最も南に位置する二つの都市はどこか。その名称を解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

Ⅱ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

モンテスキューは、諸国の政治・法体制の文明的考察を展開した名著『(39) (40)』の中で、複数の政治体が合意を通じてより大きな政治体を構成する「連合」について検討を行なっている。ここで「連合」とは、同盟や連邦をも含む政治体を指す。モンテスキューによれば、古代ギリシアの繁栄やローマの領土拡張、また、初期近代に分立状態にあったいくつかの国の存続も「連合」のおかげである。その論拠となった歴史的事実をたどって、彼の言う「連合」の意義を探ってみよう。

前5世紀のギリシアでは、ペルシアの侵略に対し、ポリスが連合して(41) (42)の海戦や、陸上では(43) (44)の戦いで撃破した。さらに、諸ポリスは、一連の戦いで活躍したアテネを盟主とする軍事同盟を結んで、ペルシアの再来に備えた。多様なポリスの結束を可能にしたのは、ギリシア人が自らを「(45) (46)」と呼び、共通の言語や神話といった文化的基盤を持っていたからであろう。一方、ローマは、征服した諸都市とそれぞれ内容の異なる同盟関係を結ぶ(47) (48)統治を行い、イタリア半島外を次々と(49) (50)にしていくなかで、当初は友好的な都市や個人に与えていたローマ市民権を、領内の全自由人に与える勅令が(51) (52)帝によって出された。^(a)ローマが世界帝国になったのは、文化的基盤を異にする民族・部族を巧みに統合していったからだと言える。

初期近代の「連合」国であるオランダ・ドイツ・スイスのなかでは、ドイツが同質の政治体から構成されていないため不完全だとモンテスキューはみなしている。神聖ローマ帝国としてのドイツの成立は、10世紀半ば、東フランク国王に選出された(53) (54)家オットー1世がイタリアに遠征し、約40年にわたって空位だったローマ皇帝の帝冠を受けたのを起源とする。その国制は、ドイツ王＝皇帝を頂点にして、共和政をしく^(b)自由都市と、君主政をしく多くの諸侯の領邦が数多く存在する連合体であった。こうした政体の混在が国としての統一を不安定なものにしていた。また、選挙王制に準じた皇帝の選出に関して、14世紀半ばに、選帝侯の多数決とすることが(55) (56)によって明文化された。これにより、諸領邦は影響力を強め、17世紀にはほぼ完全な主権を得たため、帝国は有名無実と化した。

1273年に(57) (58)を終わらせたハプスブルク家ルドルフ1世に始まり、南ドイツから着々と勢力を広げ、15世紀以降権勢を誇った同家の支配を脱したのが、スイスとオランダであった。13世紀末に独立闘争を始めたスイスは、15世紀末には13の州の連合体として事実上独立していたが、国際的な承認を得るには(59) (60)年まで待たねばならなかった。現在に至るまで、スイスの国制は一貫して共和政である。その間に、宗教改革期の(61) (62)において神政政治が行われた。また、18世紀末には一時的に中央集権化したが、^(c)ウィーン体制下で地域連合国家となった。

オランダでは、16世紀半ばに、スペイン＝ハプスブルク家の(63) (64)が導入した異端審問によるプロテスタント弾圧政策や、重税に対して反乱が起こった。(65) (66)派が主導する北部7州は、南部10州が戦線から離脱したあと、1579年にユトレヒト同盟で結束を固めて独立戦争を続行し、17世紀に国際的に独立が承認された。この連邦共和国の主権は(67) (68)にあった。こうして、国土の狭いスイスとオランダは、^(d)近隣の大国フランスがとった絶対王政と対極の国制で対抗した。ただし、スイスよりもオランダの方が宗教的寛容の気風があり、^(e)亡命者や思想家を広く受け入れた。

このようなスイスとオランダの国制に基づいて、モンテスキューは、共和国が分権的連合体であれば、他国に征服されることなく、構成する州の間の抑制と均衡によって健全に統治することができると考えたのであった。ところが、彼の死後、新しいタイプの連邦共和国であるアメリカ合衆国が建国された。

(f) イギリスから独立した当初，アメリカの13植民地は，1777年に採択された (69) (70) で，各州が政府と憲法を有し，独立前の (71) (72) を引き継いだ組織が中央政府的な役割を担うことが定められた。しかし，合衆国憲法を定めるために (73) (74) で開かれた会議では，連邦政府の権限を強化した草案が作られた。最終的に，人民主権のもと，各州に一定の自治を認めつつも，連邦政府に外交・通商・徴税の権利を与える合衆国憲法案が (75) (76) 年に採択された。

問1 文中の空欄 (39) (40) ～ (75) (76) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び，その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (39) ～ (76) にマークしなさい。

- | | | | |
|------------|-------------|-------------|--------------|
| 11 1648 | 12 1699 | 13 1787 | 14 1789 |
| 15 委任 | 16 オランダ総督 | 17 カール5世 | 18 カール大帝 |
| 19 カール4世 | 20 カイロネイア | 21 カラカラ | 22 カルヴァン |
| 23 クラウディウス | 24 ザクセン | 25 サラミス | 26 三部会 |
| 27 四分 | 28 社会契約論 | 29 州議会 | 30 自由州 |
| 31 シュタウフェン | 32 ジュネーヴ | 33 準州 | 34 植民地議会 |
| 35 叙任権闘争 | 36 属州 | 37 大空位時代 | 38 大陸会議 |
| 39 第6回十字軍 | 40 チューリヒ | 41 ツヴィングリ | 42 統治二論 |
| 43 独立宣言 | 44 ハドリアヌス | 45 フィラデルフィア | 46 フェリペ5世 |
| 47 フェリペ2世 | 48 フェルナンド2世 | 49 プラタイア | 50 ブランデンブルク |
| 51 プレヴェザ | 52 分割 | 53 ヘラス | 54 ヘレネス |
| 55 法の精神 | 56 ボストン | 57 マルヌ | 58 ルター |
| 59 レパント | 60 連合規約 | 61 連邦議会 | 62 ワシントンD.C. |

問2 下線部（a）に関連して，当時世界宗教となったキリスト教のなかで，アレクサンドリアを拠点にした，イエスに神性のみを認める教説の教会名は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して，北ドイツの都市間で結ばれた代表的な同盟が商業活動を行うためにロシアに設置した在外商館はどの都市にあったか。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）に関連して，ウィーン会議でスイスに認められた国際的地位は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して，絶対王政ではどのような方法で国民統治が行われたか。専制との違いを念頭に置いて，解答用紙Bの所定の欄に記述しなさい。

問6 下線部（e）に関連して，黄金期とされる時代のオランダにフランスから渡って従軍したのち，アムステルダムに隠棲して合理論を打ち立てた哲学者は誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部（f）に関連して，同じくイギリスからの独立を目指していたアイルランドで1840年代に起こった食糧危機とは何を指すか。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

Ⅲ. 次の文章を読み、下記の問いに答えなさい。

国民国家の創設を目指すナショナリズムの始まりはフランス革命に遡る。この革命を機に、特権をもつ集団や身分が廃止され、自由で平等な国民が国家を構成するという理念がフランス以外の国々にも広まった。その後、ナポレオンが革命理念の拡大を大義に掲げてヨーロッパ統一を目指し一連の戦争を展開すると、フランスの支配に反発する諸国において民族意識が成長した。戦後、革命と戦争によって混乱したヨーロッパの国際秩序再建のため、列強による会議が開かれた。ここで採用されたのは革命前の状態を復活させようとする保守反動体制であり、自由主義やナショナリズムと対立したため、^(a)各国で反対運動や蜂起が起こった。これらはいずれも弾圧されたが、オスマン帝国支配下のバルカン半島では、1815年に (77) (78) が制限つきながらも自治権を認められ独立への一步を踏み出したほか、1829年には (79) (80) が独立を果たした。フランスでは (81) (82) 朝の復古王政に対し、パリ市民が蜂起して七月革命が生じ、(83) (84) を王に迎えて自由主義的な立憲王政が成立した。この影響で、南ネーデルラント地域で独立運動が起きて (85) (86) 年に立憲王政のベルギー王国が成立したが、ポーランド、ドイツ、イタリアでの蜂起は鎮圧された。

1848年には、フランスで中下層ブルジョワジーや労働者らによる二月革命が起こり、首相 (87) (88) と国王 (83) (84) が亡命して、共和政の臨時政府が樹立された。その衝撃を受けて、ヨーロッパ各地に自由主義革命と民族運動の波が押し寄せた。多民族国家のオーストリア領内では、ハンガリーで (89) (90) を中心とするナショナリストが完全独立を求めて蜂起したほか、^(b)ベーメンでも民族運動が起こるなど、各地で民族自治権を求める動きが強まった。一方、諸国分裂の状態にあったイタリアとドイツでは統一運動が活発化した。だが、統一実現には数十年を要したのである。以下に見てみよう。

イタリアでは、1849年に共和政府が樹立され、マルセイユで組織された独立運動の指導者である (91) (92) も加わったが、半年あまりで崩壊した。その後は、産業革命の中心地である (93) (94) をもつサルデーニャ王国がイタリア統一を求める勢力の拠点となった。首相の (95) (96) は、フランスと^(c)密約を結んで支援を取り付け、1859年にオーストリアから領土を獲得し、さらに複数の地域を併合して、1861年にイタリア統一を宣言した。ここに成立した (97) (98) は、1866年に (99) (100) を併合、1870年に教皇領を占領し、イタリア国土の統一はほぼ達成された。

ドイツでは、1848年5月に (101) (102) にて招集された立憲議会で国の統一方針が協議されたが、議会は紛糾して失敗に終わった。のちにプロイセン首相に就任したビスマルクは、(103) (104) 年に発足したドイツ関税同盟を拡大して経済力を強化するとともに、富国強兵政策を推し進めて^(d)国の統一を図った。その結果、1864年にデンマーク戦争で勝利し、1866年には^(e)オーストリアを破って統一の主導権を握り、翌年に (105) (106) を成立させた。さらに、南ドイツ諸邦と同盟してフランスと戦い、フランス北東部の (107) (108) で皇帝を捕らえて勝利し、1871年に統一国家が実現した。こうした動きの背景には、言語と文化を共有する民族共同体としてのナショナリズムがあった。たとえば、(109) (110) は画期的な『ドイツ語辞典』を編纂した。また、国民文化を追求するなかで歴史への関心も高まり、(111) (112) は厳密な資料批判を用いる近代歴史学の基礎を確立した。

1880年代以降、列強の帝国主義政策によって植民地化された諸地域で、解放と独立を目指す運動が高まった。1919年に開かれた (113) (114) で民族自決原則が掲げられ、ナショナリズムは一つの転換点を迎える。オーストリア＝ハンガリー帝国、ロシア帝国、オスマン帝国が解体した結果、中・東欧地域に

新たな民族国家が誕生したのである。これを機に、民族自決原則が適用されなかったアジアやアフリカの植民地でも^(f)民族解放運動が活発化し、第二次世界大戦後には独立へと展開していった。一方、各国のナショナリズムから弾き出されたユダヤ人の間では、19世紀末から^(g)シオニズム運動が盛んになった。

問1 文中の空欄 (77) (78) ～ (113) (114) にあてはまる最も適当な語句を下記の語群から選び、その番号を解答用紙A（マークシート）の解答欄 (77) ～ (114) にマークしなさい。

- | | | | |
|------------|------------|-------------|-------------|
| 11 1830 | 12 1831 | 13 1834 | 14 1843 |
| 15 イタリア王国 | 16 イタリア共和国 | 17 ヴァロア | 18 ヴェネツィア |
| 19 オルレアン | 20 カヴール | 21 カビール | 22 ガリバルディ |
| 23 ギゾー | 24 北ドイツ連邦 | 25 ギリシア | 26 グリム兄弟 |
| 27 クロアチア | 28 コシュエシコ | 29 コシュート | 30 サヴォイア |
| 31 シチリア | 32 シャルル10世 | 33 スダン | 34 セルビア |
| 35 タレーラン | 36 ドイツ帝国 | 37 ドイツ連邦 | 38 トスカナ |
| 39 ナンシー | 40 ハイネ | 41 パリ講和会議 | 42 ピエモンテ |
| 43 フランクフルト | 44 ブルガリア | 45 ブルボン | 46 フンボルト |
| 47 ベルリン | 48 マッツィーニ | 49 マルクス | 50 メッテルニヒ |
| 51 モンテネグロ | 52 ライプツィヒ | 53 ランケ | 54 ランス |
| 55 リサール | 56 リスト | 57 ルイ＝ナポレオン | 58 ルイ＝フィリップ |
| 59 ルイ＝ブラン | 60 ローマ共和国 | 61 ロンドン会議 | 62 ワシントン会議 |

問2 下線部（a）に関連して、当時、イタリアの独立を目指して活動していた党の名称は何か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問3 下線部（b）に関連して、この民族運動に積極的に関わった作曲家で、チェコ国民楽派の創始者とされる人物は誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問4 下線部（c）の密約を何というか。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問5 下線部（d）に関連して、国家統一後にドイツ人の国民意識を育成して国民を一つに統合するために、ビスマルクが行なった内政政策はどのようなものだったか。解答用紙Bの所定の欄に40字以内で記述しなさい。

問6 下線部（e）に関連して、オーストリアが1867年にハンガリーを王国と認めた協定は何と呼ばれるか。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問7 下線部（f）に関連して、外国の支配下にあったビルマで、1930～40年代の民族運動の指導者として知られる人物は誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。

問8 下線部（g）の提唱者として知られるユダヤ人ジャーナリストは誰か。解答用紙Bの所定の欄に記入しなさい。